

『介護技術講習会』 ～ 排泄ケア編 ～

施設名 あしや聖徳園

① 活動実施の背景・実施に至った理由・思い

高齢者福祉施設にある知識、技術を地域に還元出来ることは何か？と考え、介護技術講習会を検討してまいりました。基本的な技術だけでも学ぶことで、介護者の負担軽減に繋がるのではないかと、また要介護者の安全も確保出来るのではないかと考えております。また、職員が一方向的に教えるというのではなく、職員も一緒に学ぶ機会として捉え、実施いたしました。

その後、実際の場面を想定しながら、排泄ケア物品の使用方法、工夫など、意見交換しながら、講師からのアドバイスもいただきました。



② 取り組みの内容

2019年5月28日、近隣住民、ショートステイ利用ご家族、在宅サービス利用ご家族を対象に、『より良く出すために～排泄ケア研修会～』を開催いたしました。

開催当日があいにくの大雨でしたが、地域の方々にご参加いただき、また DASU ケア LAB の大関氏にもご協力いただき、講義開始。

まずは排泄の仕組み等、知っているようであまり普段意識していない体の仕組みを学びました。

③ 活動の効果・課題

プライバシー性が高く、普段なかなか聞くことも、話し合うこともしづらい排泄ケアですが、実際の場面を想定しながら、施設でのやり方、ご自宅でのやり方など、双方にとって得るものが多い講習会となりました。参加いただいた地域の方からは「排泄ケアのことなど、どこに相談したら良いか分からなかったので、参加出来て良かった」との声をいただきました。



④ 今後の展開・夢

今回は「排泄ケア」をテーマに介護技術講習会を開催しました。次回は「認知症」をテーマに開催が決定しております。今後も、地域の方々の希望に応じ、施設が地域に還元できる知識、技術を共有できるような講習会を開催していきたいと思っております。